

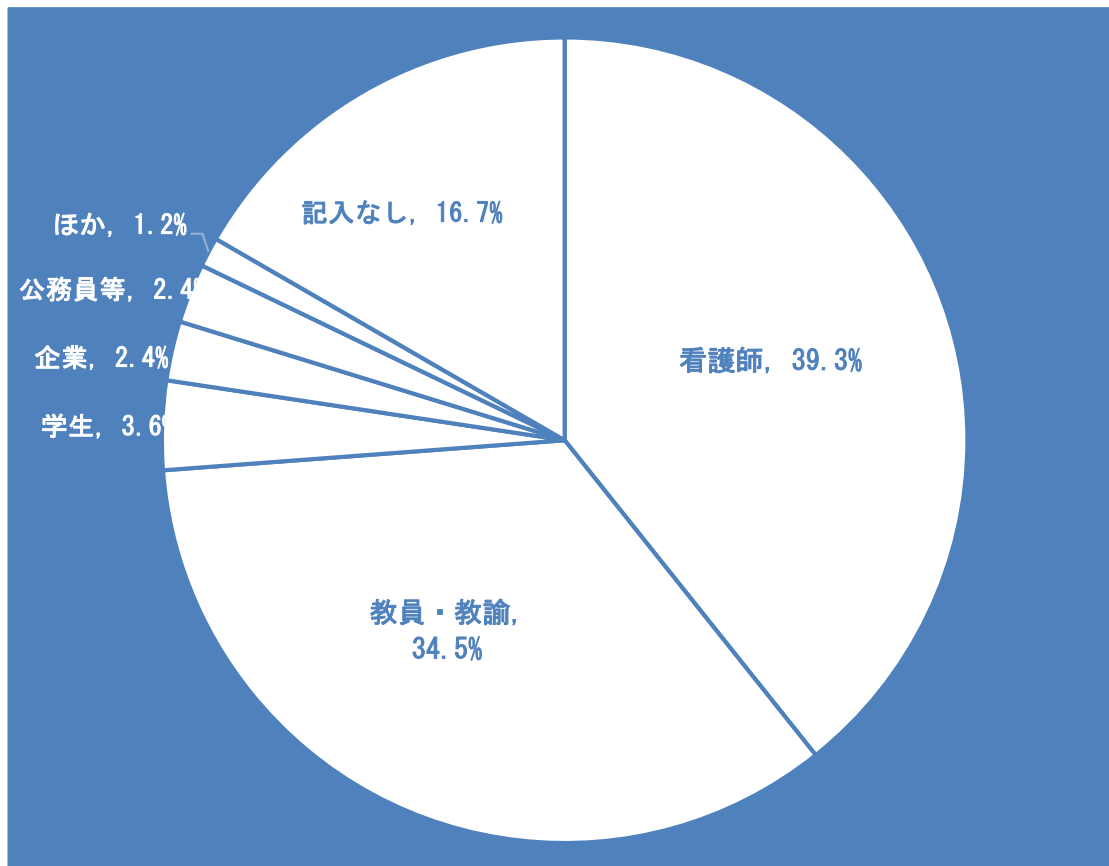
☆ 2017年8月5日全国大会アンケートの結果概要 ☆

2017年10月10日

シンクタンク未来教育ビジョン

1. アンケート回答者の概要

アンケートの回収数は84名。



2. あなたにとって今日、もっとも価値ある獲得は？

- ◇ 主体的学びが"やらされ感"から解放される
- ◇ 開会から閉会までのすべての進行、運営、カリキュラム・・・気遣い、アドリブ含む
- ◇ 正解はないがセオリーはある
- ◇ AI時代に生きる力の磨き方
- ◇ 自分で考え学ぶことが大切
- ◇ 成果について、プロセスを交えて可視化して発表し、文字や写真として残すことは大切であり、それを評価してあげるとモチベーションを上げると感じた
- ◇ 後輩や子どもたちが「こうありたい」「こうなりたい」という思いを実現するためには、関わる大人が未来は明るい信じ、情熱を持って関わるのがとても重要だと改めて感じられた

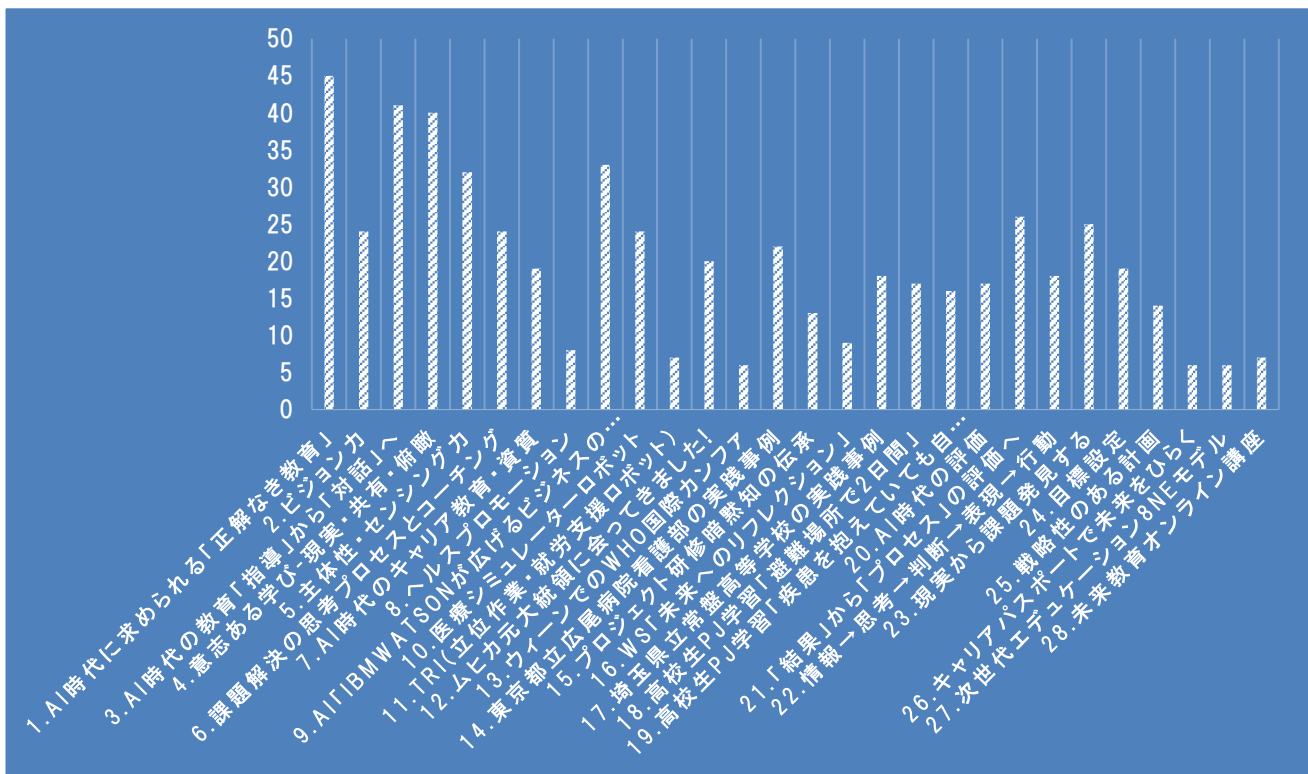
- ◇ 教師は「未来デザイナー」
- ◇ どこまでリアルに迫れるか。そこから親身になって知を伝えるか。
- ◇ やはり何のために何をやりたいのかを常におさえておく
- ◇ 結果ではなく、プロセスを見る
- ◇ 未来型ロボットの高品質さ
- ◇ 教育のなかにもっとリアルを入れる

3. 価値ある獲得をどんな場面で活かしたいと思いますか？

- ◇ 臨床場面で患者さんによりよいケアを提供するために
- ◇ 心に残るシーンを中間研修でやれるといい。
- ◇ 学生の意志を尊重したい
- ◇ 子どもにキャリアポートフォリオを作らせたい
- ◇ 職員教育をするときに「こうなりなさい」という教え方ではなく、その人自身から引き出せるような関わりができるようになりたい
- ◇ 安全管理やインシデントで発生しやすいタイプや起きやすい場面の選定、指摘や提案
- ◇ シミュレーションの質を上げられる

4. あなたが関心のあるテーマはどれですか？

関心があるテーマは、「AI時代に求められる『正解なき教育』」が45名でもっとも多く、次いで「AI時代の教育『指導』」から「対話」へ」41名、「意志ある学び-現実・共有・俯瞰」40名であった。



5. 特別ゲスト日本 IBM ワトソン事業部長吉崎氏へ

- ◇ AI の得意とするビッグデータと人間にしかできないことへのタグによる 1up した社会を想う時、わくわくしました
- ◇ AI の第一人者が人間の「意志」の重要性をもっとも強調なさっていたことが、印象的でした
- ◇ 可能性に限りはないと思いました。
- ◇ いちばん知りたいけど、いちばんわかりにくい遠い世界のように感じている話題を身近なものにしてください。
- ◇ ほとんど知識がなかった AI について、知ることができて良かったです。
- ◇ 人の仕事を奪うのではなく、人間をサポートしてくれるための知能という考え方が知れてよかった。
- ◇ AI と人間が協働することで、未来は明るくなると思えました
- ◇ 自分の周りからは得られない話であり、違った分野の話から看護に活かせたらこんなに良くなるかもと考えることが、とても楽しかった

6. 実践事例の発表者へ

- ◇ 病院でもポートフォリオを利用していることを知って驚きました。新人の困ったときの対処方法はとても役に立つと思いました。
- ◇ 都立広尾病院の実践事例は、内容がおもしろく興味がわくものばかりでした。
- ◇ 現状を変えたい、未来を良くしたい、みんなが幸せになるように約立ちたいと強く願ったときに、学びはじめ主体的に学ぶから、次に生かせる力になっていく。
- ◇ たくさんのヒントをもらいました。写真が豊富で、笑顔がすてき。
- ◇ 指導されている先生方も常に学びつづけられていることが、よくわかりました。
- ◇ 多くの病院で、広尾病院のように取り組まれたら、看護学校を阻止業して長く働けて良いと思いました。
- ◇ 入院するならその様な学びを経験した人がある病院がいい
- ◇ 生き生きと活動している学生さん立ちがやっぱりすばらしい!のは、内から湧き上がる活力が自分のものだから
- ◇ 学生さんがみなさんイキイキしていて、目的を持って学ぶことは素晴らしいと再認識しました。
- ◇ 本当に自分たちで考えて学習していると感心しました。
- ◇ 学生さんたちの思考力に、これからの未来の看護職にとっても期待が持てました
- ◇ のびやかに意志ある学びを楽しく学んでいることがわかった